

千葉県県庁舎等再整備基本構想・基本計画検討会（第3回）

議事要録

- 日時 令和8年3月17日（火）13時30分～15時30分
- 場所 千葉県自治会館 9階 第3会議室
- 出席者 委員：柳澤要、林立也、指田朝久、磯野綾
事務局：総務部資産経営課 斎藤課長、増田副課長、藤班長
大作副主幹、高橋主査、山本副主査
株式会社日建設計（基本構想・基本計画策定支援業務受託者）

1. 開会

2. 事務局あいさつ、委員紹介

- ・事務局 第3回はこれまでの議論を踏まえて整理した基本構想・基本計画の中間案の報告とともに、建物の配置パターンについて検討の視点を加えて再評価した結果を提示している。県庁舎の整備に向けて委員の皆様より忌憚なき意見をいただきたい。
- ・事務局 委員の紹介
- ・柳澤座長 本日の議題は、前回の振り返り、基本構想・基本計画の中間案、建物配置パターンの再評価、その他の4つとなる。議題について事務局より説明願う。

3. 第3回検討会資料について

- ・事務局より第3回検討会資料について説明。

4. 意見交換

「議題（1）前回の振り返り」について

- ・柳澤座長 将来の変化に対応できるフレキシビリティの確保、災害対応を踏まえた危機管理機能の精査、高層化に伴うエレベーター混雑、セキュリティ区分、面積効率への影響などの課題について挙げられていた。ご意見はいかがか。
- ・委員 意見なし

「議題（2）基本構想・基本計画の中間案」について

- ・柳澤座長 第1回、第2回の内容から大きな変更はないと思うが認識相違ないか。
- ・事務局 p.2「現況と課題」については、庁内で行った意見照会の結果も踏まえた内容となっている。
- ・林委員 「機能的な庁舎」という表記は誤りではないが、「働きやすい」だけでなく「働きがいのある」などのワークエンゲージメントの視点があると良いのではないか。説明文も自分たちの施設のためか、表現が控えめだと思う。
- ・柳澤座長 「質の高い行政サービスを提供する」というのは、結果として働く側の環境が良ければ、生産性の向上に繋がり、サービスの質も上がるという意味合いにはなるが、どうしても「市民利用」ということで「市民が快適に利用しやすい」という書き方に寄ってしまっている。

ただ一方で、職員自身のことなので、あまり「快適性」や「やりがい」を言いすぎると、反発も招く恐れもある。

- ・**林委員** 計画の職員数を現状と同数としているが、これまでのペースで人数が増えると多少「余剰の空間」を作っても、あっという間に足りなくなって、余剰スペースはすぐ事務室で埋まってってしまうのではないか。民間企業では「余裕」として用意していた場所が事務所になってしまった、学校では余剰スペースが全部普通教室になってしまった、という事例が散見されるので、そうならないよう面積の確保についてはよく検討いただきたい。
- ・**柳澤座長** 「フレキシビリティ」や「可変性」は難しい。場合によっては対立することもある。
- ・**林委員** 軸を最初から持っていないと、県民から「あれが欲しい」「これが欲しい」といろいろな意見が出てきて、結局、欲しいと言われたものを入れざるを得なくなってしまい余剰スペースが確保できなくなる。働きやすく魅力的な空間を作るためには、こういう空間が必要だ、というのを、最初から明確にしておく必要がある。
- ・**柳澤座長** 他庁舎ではABWなどの推進で、通常の固定席以外に「集中できる場所」や「ディスカッションがやりやすいところ」など、用途に応じて使い分けられる場を確保している例もある。入れすぎると「無駄だ」と言われることもあるので、どう位置づけるかが重要だと思う。
- ・**林委員** 目的に応じた場所を確保するには、在宅勤務を取り入れ出勤率を0.7にするという考え方を導入しないのであれば、今の1.2倍程度は面積に余裕が必要だと考える。文書館もあるが、DX化によって書庫や紙のようなものを減らしていく、スリム化できるところはコンパクトにする、という視点も合わせて考えていかないと、余剰スペースは生み出せないとの意識づけが重要。
- ・**柳澤座長** DX化などによって面積を捻出していくという考えが必要。他ご意見いかがか。景観との調和についてはどうか。
- ・**磯野委員** 基本理念のうち、「水辺と緑の調和」の部分が景観への配慮に当たるとの認識。周辺環境やシンボル性に配慮する記載もあるので良いかと考えている。建物高さやスカイラインなどは具体的な話になってしまうため、理念としてはこのような書き方で良いと考える。
- ・**柳澤座長** シンボリックな建物、川に面している部分をどうするかなども議論が必要になろう。羽衣公園を動かすかどうかも論点となると感じている。
- ・**磯野委員** 強いて言えば、周辺の敷地への配慮は理念に追加しても良いかと思う。東側の住宅側やモノレール側、道路側からの見え方など、敷地に近いところ、住環境、交通機関に対しても配慮して進めていくのが良い。その点については具体例に含んでも良いかと考える。
- ・**柳澤座長** モノレールからの動線、車や人のアクセスという視点も大事かと思う。
- ・**事務局** 「働きがい」の視点については職員アンケートでも同様の意見があるため、最終的な基本構想・基本計画の取りまとめの際に、もう少し見えるような表現で整理したい。可変性、経済性、景観についての内容は、本日の内容を受けて検討を行い最終案へ反映させたい。
- ・**指田委員** 防災については地震が中心の記載となっているが、風水害についても考慮いただきたい。
- ・**柳澤座長** 基本構想・基本計画については、今回の意見を踏まえて作成願う。

「議題（3）建物の配置パターン再評価」について

1. 再整備後における庁舎の機能性

- ・柳澤座長 p.6 で赤字になった部分が追加された評価項目となっている。再整備後の庁舎機能について意見を求めたい。
- ・指田委員 セキュリティの観点だが、議会と行政が一体となったパターンでは、資料に示されている試算よりもエレベーター台数が増える可能性がある。議員、職員、傍聴者の動線を完全に分離するとなると、セキュリティ上、エレベーターも完全に分ける必要があり、記載よりもエレベーター・ホール等の面積が増え、執務面積が減ると考えられる。メンテナンスのための停止期間なども考慮した台数の設定が必要。一体棟にする場合は、これらの視点もよく検討いただきたい。また、危機管理の観点からは、ワンフロアが広いことが重要。能登半島地震でも、「ワンフロアの面積が取れず情報共有が難しかった」という報告があった。その考えからだとワンフロアの面積が最も広い配置案⑤が有利になる。
- ・柳澤座長 配置案②と③はいずれも高層一体型だが、動線分離を厳密にすると、特に②は執務機能の面積効率が悪く、③も面積が削られる懸念がある。危機管理や動線などの視点を考慮すると、①、④、⑤案が良いと考える。敷地の有効活用という意味とは離れるが、⑤は低層でボリュームが抑えられている。
- ・林委員 ③のワンフロア面積でも 2,800 m²程度あり、都心部のオフィスビルでメガプレートと呼ばれる大規模な同一フロアを持つものと比べて遜色がないほどの十分な面積がある。コスト面でも③が有利に見える。セキュリティの観点でも、敷地内で多少離れること自体は致命的ではないと考えられる。またエネルギーの観点では、一般的に外皮面積が増える分散配置はあまり望ましくないが、今回の千葉県庁の場合は ZEB Ready 相当を目指す水準として配置案の違いが影響することはないと考える。
- ・磯野委員 p.5 の周辺環境への影響における「街並み（景観）」については、「街並みなど」として街並みだけに特定しない言い回しとしていただきたい。

2. 将来を見据えた敷地の有効活用

- ・指田委員 2 棟で建て替えをするほうが経常的な建て替えサイクルを回しやすいということで理解した。公園を川側へ移すと敷地がまとまって確保でき良いのではないか。⑤は、今回の整備タイミングで低層化するのには可能だが、将来の建て替えローリングを考えると低層化は今回限りになり、80 年後には再び高層化が必要になる点が少し気になる。
- ・柳澤座長 行政、議会を一体化し建物をコンパクトにした方が、建て替えという意味では敷地に余裕が生まれ整備しやすいということが分かった。東側にずらっと建物が並ぶことについてはいかがか。
- ・磯野委員 「県のシンボル」ということも県庁舎のコンセプトに含まれるので、80 年で建て替わり形が変わる前提のシンボルというのはどうなのだろうという印象。40 年後・80 年後の土地利用は変わる可能性もあるが、東側の住宅地への配慮は必要である。2 棟立つ場合は、東側に寄せるか、交互に建て替えるかなどの建物の並び方によって、景観の統一感や圧迫感が変わる。統一感のある景観をつくるためには、壁面の位置や建物の高さが揃っているという点が重要であるが、今回の県庁のように敷地面積が広い場合は、必ずしも壁面の位置や建物の高さを揃える必要は無く外装計画などで統一感をつくることも可能と考える。東側にまとまって並んでしまうということと、80 年建替えが前提で良いのかについて考慮いただきたい。
- ・柳澤座長 建物が並んでいるとすっきり見えるかもしれないし、斜めに配置されていても自然

に感じるかもしれない。

- ・林委員 敷地の中でローリングを続けるとき、敷地内で空いている場所が変わり駐車場の配置も動くことになる。公園を北側に移転した場合、車が入れなくなるということについて問題ないのか気になった。
- ・柳澤座長 本当であれば一気に全部の建替えができることが望ましい。現実的には難しいが、耐用年数 80 年の建物と耐用年数 40 年の建物を作り、最終的に周期を合わせることができると良い。

3. 整備期間中の業務等への影響 4. 整備コスト

- ・柳澤座長 整備期間が一番短いのは③。あとは②、④が続く。①が一番整備期間が長くなる。コストに関しても一番費用が低廉なのは③となった。
- ・指田委員 ③は本庁舎の整備のタイミングで南庁舎も整備が必要になるため、次の本庁舎の建替えコストは南庁舎の整備費も含み費用が増大するというコストのデメリットが書かれていないのではないか。南庁舎を残すことで、将来的な本庁舎建て替え時のフロア不足やコスト増につながる可能性があるため、配置案③'として、南庁舎を解体し、その面積分を新庁舎に上乗せして建てるということも考えられるのではないかと。③の維持費が低いのは、南庁舎を残しているからか。
- ・事務局 ③は南庁舎を単独で建替えるという前提で算出している。③の建設費指数 100 は南庁舎を現敷地で建替える必要が含まれており、さらに南庁舎を建替えるために外部へ移転するときの移転費等を含めたものが 103 となっている。
- ・柳澤座長 ③で維持費が一番低くなっているのはなぜか。
- ・林委員 整備コストの維持費は改修更新費なのか、ランニングコストなのか。改修費用として理解していたがいかがか。
- ・柳澤座長 事務局はコストの考え方について再度説明いただきたい。
- ・事務局 承知した。
- ・柳澤座長 何か別の視点で指摘はいかがか。
- ・磯野委員 「整備期間中の業務継続性の確保」において、周辺住民が敷地内を通過して南側から北側に抜ける動線について考えはあるか。
- ・事務局 ⑤については、新庁舎を敷地内の南北貫通道路上に整備するため工事期間中はこの部分の道路が使用できなくなるが、工事エリアを迂回し、通れるようにするなど対応を考えたい。
- ・磯野委員 多少迂回はするものの、分断されることはないという理解でよいか。
- ・事務局 問題ない。

5. 周辺環境への影響

- ・柳澤座長 ④の議会棟は 6 階とあるが、全てが議会機能か。
- ・事務局 現施設は④よりも一回りフットプリントが小さく 9 階建てである。面積は 10,000 m²ほどで、全てが議会機能である。
- ・磯野委員 掲載されているパースはアイレベルよりは少し高い視点かと思う。県庁をどのように見せたいかで作り方は変わってくると考える。シンボルとしてアイストップ型の景観をつくるのであれば、⑤は A 視点の北側から見たときにシンボリックなものとなる。①～④であれば、

橋からまっすぐ空間が連続して見えるため都市の中の抜け感、南側へ続く住宅地とのつながりを意識しやすい景観になるだろう。圧迫感については、横か縦だと、横の方が圧迫感を感じやすいという研究結果もある。見上げる圧迫感と連続的な圧迫感のどちらを許容するか。高層の建物は公開空地を設けることで圧迫感を緩和することもできる。横に長い建物は壁面のデザイン（切り込みを入れる、デザインを切り替えるなど）で圧迫感を軽減させることもできる。シンボルとしてどちらを優先するのか、それに伴ってどう軽減する措置を取るのかは今後の整備方針によるものと思われるが、現状はどうお考えか。

- ・ **事務局** 特段決まっていない。
- ・ **柳澤座長** 高層とするか、低層とするかなどは事務局の方針はあるか。また、抜け感などはどう考えているか。①は東側に建物が並んでいる分、広場もまとめて西側に確保することができて圧迫感を緩和できるため、モノレールから来る人からするとオープンに感じ、賑わいをもたらすこともできるかもしれないが、東側の住宅地にとっては圧迫感があるなど、どこから考えるかで考え方は変わってくると感じる。建物の外観もただの箱ではなく、都庁のように中間階から45度動かすなど、やり方は色々あると思う。
- ・ **磯野委員** ⑤は執務機能と議会機能が分かれる部分の外装デザインを変化させるなどとして、工夫できると感じる。資料中のCの視点で見ると手前にモノレールがあるので、近距離になった場合の印象が配置案ごとによって見え方が大きく変わってくると感じる。
- ・ **柳澤座長** 羽衣公園で休んでいる人から見た庁舎の見え方も大事なのではないか。
- ・ **磯野委員** 南側に建物が立つことになった場合は印象が変わるのではないか。
- ・ **柳澤座長** 羽衣公園が南側かモノレール側か川側かなど、どの位置になるかによって使われ方が変わるように感じる。
- ・ **林委員** ビル風も考慮事項と考える。主風向にもよるが、影響を考慮しないといけないのは東側の民地である。どの配置になっても民地への隙間風は大きくは生じないと思うが、例えば⑤の場合、少なからず南からの風は影響があるかと思う。現時点では風だけで配置を決めることにはならないと思うが、計画を詰めていく際にはどこに強風が生まれないようにするかということも考慮してほしい。
- ・ **柳澤座長** 本千葉の方面から歩いてきたが、⑤が現状の建物配置に近いと感じた。仮設庁舎を作らず建替える場合は、周辺に住んでいる人からすると、新しい棟がこれまでとは全く違う場所にできる。どちらかと言えば現状と同様なものができるほうが住民からの苦情などは少ないのではないか。
- ・ **林委員** 南側が警察本部とプラザ菜の花のため、あまり文句を言う人はいないのではないか。北側からの視線が歩いてきたときに一番インパクトがあると感じる。
- ・ **柳澤座長** 今とどう変わるか、という視点で検討を進めていただきたい。他に何かあるか。
- ・ **指田委員** 南庁舎の外壁改修工事が必要とあるが、本当に可能か。実施できないのであれば、南庁舎の建替えも視野に入れて今回の再整備時における新庁舎の新築時に南庁舎の面積を含めた方がいいのではと思う。南庁舎が残ったうえで統一感を残そうとすると、今と同じようなものが未来までずっと続いてしまうということになるので、そうであれば統一感を無理に合わせる必要はないのではと考える。
- ・ **柳澤座長** 歴史的な建物がそれぞれ、その時代のデザイン性を持ちながら共存していることはよくある。あまりバラバラと整備していくよりは、ある程度まとめて実施したほうが後から楽

ではないか。南庁舎もまとめること自体は敷地に余裕があるので可能ではないか。

6. 代表的な配置案の比較まとめ

- **柳澤座長** 以下、各案の特徴。①は整備期間が長い点、建物が一列に並ぶ点が課題。②は高層棟のため他案よりも効率よく執務面積を確保し難しい点が課題。③は南庁舎を残すため整備期間が他案よりも短い、南庁舎を残置するかは再検証の必要がある。④は庁舎と議会棟を分離する案。⑤は庁舎と議会棟を一体化するが、次回の建て替えから低層の一棟は実現できないという点が課題。整備コストは再度整理いただきたい。今回の会議ではどのようなまとめ方を事務局として考えているか。
- **事務局** どの案が望ましい、という意見があればいただきたい。
- **柳澤座長** この案は想定しにくいというご意見はあるか。
- **磯野委員** ①は選ばれないのではないかと。東側の圧迫感と整備期間より難しいと考える。
- **林委員** この一覧表だけを見ると丸の数が多いものを選ぶということに見えるが、それぞれの項目で重要度が違うと考える。①の東側への圧迫感については△ではなく×でもいいのではないかと。
- **柳澤座長** 庁舎間の距離があると移動の不便さはあると考える。
- **林委員** 隣の建物との距離が遠いというのは本当に影響があるのか。傘を差さずに行けるなどは利点だが50mが80mになるかはそれほど関係ないのではないかと。それよりも整備期間とコストの影響が大きいと考える。③については南庁舎のコストが含まれているかどうかということについては精査が必要。そのような視点だと、①案は難しく、⑤も圧迫感の影響が大きいのではないかと。
- **柳澤座長** ⑤は圧迫感というよりは将来的な整備ローリングが続かないという点がデメリットとして大きいと感じる。庁舎が駅から遠いかどうかは、各案であまり差が無くそれほど問題にならないのではと考える。②の新庁舎25階建ては高すぎるのではないかと。
- **林委員** 南庁舎をこのまま残置するかどうかという点について、将来職員数が減るのであれば、今回の整備で南庁舎を残すことで将来的に南庁舎を壊すだけで余剰面積の削減になるため、効率が良いと考える。人口減の中、職員が増えるのも逆行しているところではあるが、職員が増えるのであれば、今回の整備で一体化した方が効率は良いと思う。
- **指田委員** 南庁舎を残すメリットが先の説明であった、整備期間中の業務等への影響、整備コスト以外で事務局はどう考えているか。
- **事務局** 南庁舎を残すメリットは、将来の職員数の増減に対応するためのバッファとして柔軟に対応できることであると考えている。
- **指田委員** 職員数が減った場合に解体できることがメリットなのは理解したが、職員数が増えた場合にはあまりメリットがないように思える。提案だが、配置案③の南庁舎を解体して、新庁舎を大きくする配置案③'も検討案に含むのが良いのではないかと。
- **柳澤座長** これまでの議論を踏まえると、③と④、もしくは南庁舎一体化案(③')の3つが候補ではないか。
- **指田委員** 将来的に職員数が減少するのであれば、南庁舎を残す意味があるかと考える。もし増えるのであれば、南庁舎も含めた③'として一体で作ったほうが良いと思う。ただ、議員の意見もあるかと思うので、今の段階では③か③'がよいのではないかと。なお、セキュリティの観点で

設計が楽なのは④である。

- ・柳澤座長 議会棟がボリュームとして大きいということもあるので、別棟とした方が良い可能性もある。③、③'、④で継続検討とする。

「議題（４）その他」について

次回の検討会議について

- ・事務局 庁内では関係課によるWGにて規模の検討を進めている。今後、執務環境や外部環境の必要な機能や規模の整理をしていくが、文書の保管スペースや危機管理機能の適正な規模の考え方について、気を付ける点などあればご教示いただきたい。
- ・指田委員 WGで話されている事項は次回以降出てくるのか。DXなどの検討についても意見が出てくるということか。
- ・事務局 WGにて検討が進んだ事項について提示する予定。
- ・柳澤座長 図面ではなく、設備や機能などの内容についての意見ということでよいか。
- ・指田委員 危機管理室の面積は広い方が良い。最近の市庁舎は危機管理関連諸室が狭すぎるが多く、石川県は能登半島地震で失敗している。東日本大震災では、市町村が機能しなくなったときバックアップを県で行うなどスペースを貸し出すことがあった。
- ・柳澤座長 兼用されているスペースも多いかと思うので、そこも考慮いただき検討を進めてほしい。
- ・事務局 本日の意見を受け、事務局側で再度検討する。

5. 閉会

- ・事務局 次回の会議は令和8年5月を予定している。

～15時30分 閉会～

以上